

## 口腔癌の術後管理でのヨックス SSD<sup>®</sup> の使用経験

上田貴史

### ●はじめに

進行口腔癌の根治療法は広範囲の舌、口蓋、頬粘膜の筋肉や上下顎骨の切除手術となり、欠損部には自家組織移植による再建が必要となります。術後には上気道閉塞や嚥下障害が予想されるため、予防的に気管切開を行っています。創部安静のため数日間の床上安静が必要で、これによりさまざまな合併症が生じることがあります。重篤な合併症としては誤嚥性肺炎や移植組織の血流障害、壊死があります。これらは気道分泌物、貯留物のカフ下への迷入や高頻度の咳嗽による頸部安静不能が原因であることが多く適切な予防が必要です。

電動カフ上吸引器ヨックス SSD<sup>®</sup> (以下、SSD) はカフ上貯留物の間歇的な吸引を自動で行う装置で人工呼吸管理下での人工呼吸器関連肺炎 (ventilator-associated pneumonia : VAP) 予防に有用であることが報告されていますが、口腔癌の術後管理に使用した報告はありませんでした。そこで、術後合併症の予防、とくに誤嚥性肺炎の予防や咳嗽頻度の減少を目的として進行口腔癌の術後管理に SSD を使用しました。

### ●術後管理について

術後は ICU に入室し安静のため鎮静での人工呼吸管理を行います。吻合血管の保護のため、術後は約 4 ～ 5 日間のベッド上安静、さらに頸部回旋の制限、安静のため砂嚢固定を行っています。術後 1 日目に人工呼吸器を離脱し HCU へ転室、経過がよければ経鼻栄養を開始し術後 2 日目に一般病棟へ帰棟します。その後、創部経過や運動、嚥下リハビリに合わせて、ドレーン、気管カニューレ、経鼻栄養チューブなどのデバイスを抜去していくこととなります。在院日数としては 3 週間から 6 週間程度となっています。この経過、処置の中で気管切開は大きなストレスとなることが多く、1 日あたりの気管内吸引の回数は 40 ～ 50 回行うこともあります。

### ●ヨックス SSD<sup>®</sup> 製品概要 (図 1)

吸引圧 : -6 ～ -30kPa (出荷時設定 -12kPa)

吸引時間 : 10 ～ 60 秒 (1 秒刻み、出荷時設定 20 秒)

休止時間 : 3 ～ 60 分 (1 分刻み、出荷時設定 15 分)

アラーム : 満杯、閉塞、バッテリー残量

バッテリー内蔵 : 18 時間、災害対応も可能

本体重量 : 2.2kg (持ち運び可能)

吸引容器 : 小池メディカル社製の吸引器と接続 (500 mL、1,200mL)

### ●使用患者

今回の症例は 76 歳男性で舌可動部半側切除、右頸部郭清、遊離前腕皮弁移植、気管切開 (手術時間 10 時間 51 分、出血 335g) を施行しました (図 2)。術後 2 日目に ICU を退室し一般病棟へ帰棟してから SSD の使用を開始しました。設定は吸引圧 -20kPa、吸引時間 20 秒、休止時間 15 分としました。術創部の経過、嚥下リハビリは順調であり、術後 13 日目に気切カニューレを抜管できました。SSD は気管カニューレの抜管まで継続的



図 1 ヨックス SSD<sup>®</sup> (小池メディカル社製) 正面図

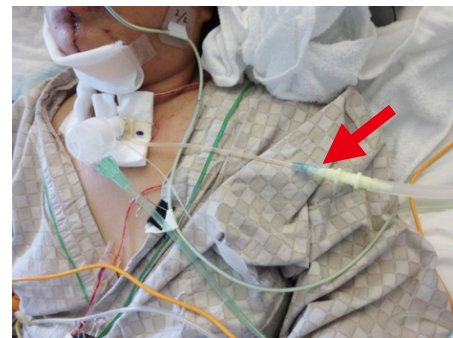


図 2-① 気管切開チューブとの接続  
赤矢印部でカフ上吸引チューブに接続しています。

に使用しました。1日あたりの平均吸引回数は6.2回でSSD導入前の症例と比較して約30回減少していました。咳嗽が間歇的自動吸引で誘発されることはなく、気管粘膜の損傷の所見もありませんでした。摂食嚥下リハビリを継続し術後30日目に自宅退院となりました。

#### ●ヨックス SSD® 使用結果

SSDの使用により去痰、咳嗽、気管内吸引の必要性が減少しており、頻回の吸引での患者さんの苦痛を軽減しカフ下への分泌物の迷入の予防にも有効であった

と考えられました。また現場の看護師の感想として、「吸引の回数が減ったように思う」「患者さんが気管内吸引をストレスに思ったり、看護師に気を使ってナースコールをしないことが減ったように感じる」「患者さんのムセが少なくなり、夜間の睡眠も安定していた」などの声がありました。看護師の吸引のための訪室回数が減少し業務の負担も軽減したと考えられます。SSDは口腔癌術後の合併症予防、そして看護師の業務負担軽減にも貢献できる機器であると考えられました。

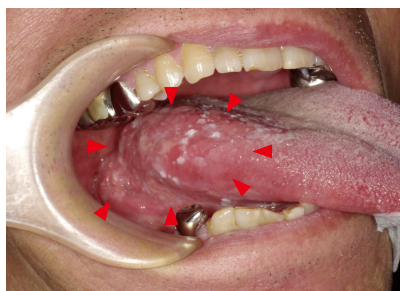


図 2-② 口腔癌（舌癌）



図 2-③ 組織再建のために移植する遊離前腕皮弁



図 2-④ 皮弁移植再建後の状態



# カフ上部吸引、 どうしていますか？

吸引圧や吸引時間を細かく設定できる、カフ上部吸引が可能。  
吸引の回数を減らし、看護する方々の負担も大幅に軽減します。

カフ上部吸引器

**yoxx.SSD**  
ヨックスSSD  
Subglottic Secretion Drainage  
認証番号 229AKBZX00016000



ヨックスディスポとの組み合わせ例

製造販売元  
株式会社 小池メディカル  
〒132-0031  
東京都江戸川区松島1-24-8  
TEL: 03(5662)6605  
<http://www.koike-medical.co.jp/>